

市政懇談会以降の取組や考え方

【分類】

A: 要望等の趣旨に沿って措置したもの(既に取り組んでいるもの)

C: 当面は実現できないもの

E: 意見・提言として受けたもの

B: 実現に努力しているもの(検討を進めているもの)

D: 実現が極めて困難なもの

F: 現状等の説明を求められたもの

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
-----	----	----	------	-------	----

■企画部

1	塩の湯	地方の国際化について	宿泊者、就業者、地域住民、経営者が国際化してきている、これらに対して、今後どのように対応していくのか。	ますます国際化が進展する中で、宿泊者、就業者、地域住民、経営者が抱える課題の一つとしてまとめて対応することは難しいと考えます。それぞれの分野の中で関係機関と協議しながら多文化共生の地域づくりを研究してまいります。	F
2	塩の湯	塩原温泉地域の都市計画について	世帯減少、住民減少の状況にどのように対応していくのか。	塩原温泉地区の世帯、人口状況については、前回御質問のありました平成28年と平成31年4月1日時点と比較しますと、世帯数が1,072世帯から1,018世帯、人口が2,207人から1,940人となっており、減少傾向であると認識しています。 昨年11月から、塩原温泉地区の活性化に取り組む地域おこし協力隊を1名採用しました。温泉地区の方々のおかげもあり、だいが地域に馴染み、活動の様子もマスコミに取り上げられるなど徐々に活動の幅も広がっています。 今後さまざまな取り組みをきっかけに地区の活性化、定住化を住民の皆様と図ってまいりたいと考えております。	B
3	塩の湯	寒冷地対策(燃料費軽減策)	住民の暖房用の燃料について、極寒期の12月・1月・2月だけでも何らかの費用軽減策をお願いしたい。	冬場の暖房用燃料代については、本市の気候からすれば、基本的にどの地域においても必要な生活経費であり、こうした生活経費への一部地域での補助は、極寒期に限らず、公平性を保つことができませんので、実施は困難であると考えます。	D
4	日の出	自治会回覧文書の分散化と行事・寄付要請等の年間予定表の作成	4, 5月になると、回覧に同封される市役所各部署からの文書が多くなり、また寄付等に関する依頼書も増加し、一度に多量の書類が届けられる。しかし、あまりに多くの書類が一度に来ると、回覧してもすべてを読んでもらえないのではと危惧する。関係各部署において、相互に連絡を取り合って年度初めの書類は何回かに分けて届けてもらいたい。併せて、当該年度内諸行事・寄付要請等の年間行程表(予定表)の作成をお願いしたい。(自治会長は通常1~2年で交代があり「申し送り」等だけでは分かりにくい部分もあるため)	文書の配布にあたっては、時期によっては、文書配布量が多く、皆様に大変なご苦勞をおかけしていることは十分に認識しているところであり、改めて御礼申し上げます。 文書配布につきましては、ルールを設けて運用しているところですが、現状を鑑み、改めてルールを明確化し、文書量を削減すると共に、市役所内で連絡調整を行い、年間を通してできるだけ平準化できるよう検討を行っていきたいと考えております。 また、行事予定については、毎年度末にシティプロモーション課より配布しておりますが、文書配布については、現段階で年間予定は作成しておりませんので、今後、作成について検討を行いたいと考えております。	B
5	古町3丁目	旧視力センターの跡地利用	旧視力センターの跡地について、国との取得交渉の進捗状況と、跡地利用の具体的な計画の進捗状況を伺いたい。	平成29年5月31日に、宇都宮財務事務所に跡地の取得要望書を提出したところでありますが、取得要望範囲が跡地の一部であり、国有地の残地が発生することから、その進入路の確保など取得要望範囲の変更について再度協議中となっています。 併せて、跡地利用の必要性、緊急性、実現性などの審査を受けるため、具体的な利用計画についても検討中であり、跡地の取得に向けて、地域の特性や地元の意向を踏まえた上で、引き続き宇都宮財務事務所との協議を進めてまいります。	B

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
6	関谷京町	テレビ共同受信	テレビ共同受信組合において、世帯数が少なく受信料に加え組合費(12,000円)が負担になっている。修理や改修費用が発生すると赤字になりかねない。中継施設の増設か金額補助を検討してほしい。	共聴施設の整備については、多大な費用がかかる場合があることから、国・県・市、NHKが助成制度を設けております。 また、運営に係る費用については、利用者負担が原則のため、個人が負担するものと認識していることから、運営に係る費用につきましては、補助制度を設ける予定はありません。	D
当日	関谷京町	テレビ共同受信	【再質問】 共同受信の件、高齢者世帯が多く世帯数も少ないので負担が大きい。4世帯が空き家で抜けてしまった。そこにきて電柱の移設が必要になり組合で負担している。ギリギリである。先を考えると10年で更新が必要になる。あと数年しかない。世帯の負担が増えていく。	負担が大きいのは承知しています。しかしテレビを見ないわけにもいかないため、難しい状況なのだと思います。本市には共聴組合が主に山間部にあり、市でハロープラザまでインフラを整備し、そこから関谷京町共聴組合に送っています。ハロープラザから出しているもの自体も実は更新時期が来ており、その機械の更新にも大きなお金がかかってしまう状況です。近いうちに各共聴組合とお話をしなければならないと考えていたところです。市が負担するとなると、通常の受信料をご自身で払っている方にも負担が生じることになるため、何か手立てをできないか検討しています。通信技術はものすごいスピードで進歩しているので、また何か方法が出てくるのかと思っていますが、今回のハード更新にあたっては従来の方で更新しなければならないと思います。それらをご相談しなければならないため、直接市の担当者が伺って話をさせていただきたいと考えています。	E
7	関谷下田野	自治会への交付金	高齢者世帯は自治会の役員が担えず、会費の納入が大変なことなどから、加入率が低下している。自治会経費は固定化されており、加入世帯減少により、自治会費の値上げも検討せざるを得ないが、それにより更なる退会者の増加も懸念される。また、自治会に交付されている各種補助金は使途が制限され、補助率が設定されているので、自治会の自己負担が必要で、取り組みたくても取り組めないことがある。自治振興費補助金等を使途制限のない交付金に変更し、金額を増額できないか。	自治会内における、役員の担い手不足、加入率の低下、会費の問題等につきましては、自治会共通の課題として認識しており、自治会長連絡協議会と連携しながら検討を行っているところですが、自治会ごとに運営方法が異なる中で、その対策について苦慮しているところです。 現在、自治会活動の支援として、自治振興費補助金がありますが、今年度以降、自治会の皆様に活用しやすい補助制度になるよう見直しを行う予定となっておりますので、その中で検討を行ってまいりたいと考えております。	B
当日	関谷下田野	自治会への交付金	【再質問】 関谷6つの自治会下田野は1つ世帯数600戸。ここ5、6年で50戸減少。転出だけでなく来ても自治会に入らない、あるいは、高齢化して役員ができないので抜ける、あるいは、会費が大変なので抜ける方が大半。自治会の交付金にするか補助金を上げてもらえないか。繰越金が毎年減っている。このままだと自治会費を上げなければならない。そうするとやめる人がもっと増えてしまう。関谷の区画整理地区の方は、昔から関谷にいる人と交流がない。中には呼び鈴や電話がない表札が無いなどあり、定住者か別荘者か判断ができない。そのため、転入届の際に自治会加入促進の声掛けをしてはどうか。自治会長名を教えてやってほしい。合わせて、アパートに入る方はほとんど自治会に入らない。数年前に市とアパートの連絡会の代表とで協定を結んだはずである。機能していない。検討をお願いしたい。	自治会の補助金について、増額は難しいのが現状です。ただし、補助対象の使い方は工夫ができるのではないかと役所の内部でも検討をしています。加入率の問題は全市的に、全県的に全国的に同じ悩みを抱えており、自治会長連絡協議会の皆さんとも取組んでいます。転入者にはパンフレットを配布しています。ただ、もう少しパンフレットに何か工夫ができないかということも検討しており、実効性のあるものにしていきたいと思っています。	B

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
8	関谷下 田野	転入者への自治会加入促進	転入時に窓口にて、自治会加入の奨励と自治会長の案内をできないか。以前、自治会会長をしていた際に自治会加入促進を自治会で行うよう説明があったが、まずは転入時に市役所で説明してほしい。当地区も未加入者が増え、接触したくてもできない事例もある。	現在、転入手続き時、窓口にて、自治会加入促進パンフレットの配布を行っておりますが、今後、本庁、各支所において、転入手続き時に自治会担当窓口と連携して個別に自治会の案内ができるかどうか検討させていただきたいと考えております。	B
当日	宇都野 根古屋	新庁舎建設	【追加要望】新庁舎の完成時期を知りたい。高齢化に対応し駐車場は余裕を持って作ってほしい。	【市長】まずは、那須塩原駅前周辺をどのように開発していくかの議論を始め、そこを構成する重要な要素の一つとして新庁舎がどうあるべきかという議論をしていきたいと思っています。これまでの議論の積み上げもあるので何十年先になることはないと思っています。	F
当日	上大貫	自治会長への依頼	【追加要望】各部各課からの自治会への参加依頼等の通知があまりにも遅い。2週間3週間前に通知がきてもとても予定が立たない。自治会長の出席依頼も仕事の都合で出られない。また、各課によって(日程が)バラバラ、酷いときには3日連続、午前中・午後。市として他の課との横のつながりをもっと持って年間計画を出してもらえないとできない。実際には自治会長なんかやりたくない。こんな面倒くさいこと。配布物は多い。あっちの顔を立てて、今度はこっち。もともとの地元の人もあじやないこうじゃない。通知や日程などよく考えてほしい。	通知については(早く出すように)庁内で共有し、年間の行事も調整したいと思います。 【市長】自治会長の皆様には日頃より地域の声を聞いて行政にしっかりと声を届けていただいて厚く御礼申し上げます。従来からの前市長の市政と私の思っているビジョンとで、やりたいこと、やらなくてもいいことを走りながら考え、擦り合わせている状況です。配布物通知に関してご迷惑をおかけしていることは、深くお詫び申し上げます。例えば先月、伊佐財務大臣政務官が急遽お越しになるとなった時も自治会長さんにも聞いていただきたいものでしたので、本当に急なことになってしまったんですけれどもお知らせを配布しました。既に決まっていることはお手数をかけないようにしたいと思っています。	B

■企画部・教育部

1	塩の湯	大型コンベンション施設の設置	塩原地区に文化会館があったが現在閉鎖中である。那須塩原駅前に建設計画中の施設(市役所新庁舎)に大型コンベンション施設を包含し、駅前という立地を活用し参加者の宿泊需要を喚起してはどうか。併せて施設の複合的な活用をしてはどうか。	【企画部】 今後那須塩原駅周辺のまちづくりビジョンを取りまとめる予定であり、いただいたご意見も参考にさせていただきながら検討したいと考えておりますが、文化会館としては黒磯文化会館が基盤施設であるため、新庁舎に包含して併設することは予定しておりません。 【教育部】 本市では黒磯文化会館(大ホール1,450席)を本市における文化発信の基盤施設としておりますので、現時点では那須塩原駅周辺に文化会館を造る予定はありません。	D D
---	-----	----------------	--	---	-------------------

■総務部

1	門前	消防団の今後	団員の高齢化、担い手の不足について、人員の確保や近隣地区との統合などについて、市としての考えを聞きたい。	団員の高齢化、団員不足の現状については、市としても深刻な課題として認識しており、団員確保に関する様々な取組を行っております。近隣地区との統合については、自治会・消防団等を交えた検討が必要と考えております。	F
2	関谷京町	防災無線	防災無線が離れていて聞こえない。デジタル改修時などに各戸受令機配布を検討してほしい。	現在の防災行政無線は令和4年までで使用できなくなることから、今年度中に、市全体の防災情報伝達手段について基本方針を決定する予定であります。その中において戸別受信機の配布等も含め、最善の情報伝達手段について検討してまいります。	B

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
3	関谷下田野	消防車(タンク車)運転用免許取得費の負担	関谷地区の消防車には、中型免許が必要なタンク車が配備されており、新規団員は自治会と市の助成により中型免許を取得している。また、消防団は、自治会加入の有無を問わず地域安全のために活動しており、中型免許の取得は消防団に加入していなければ必要のない資格である。 現在、自治会会計を圧迫している免許取得助成金について、全額を市の負担に移行できないか。	中型免許は消防団活動に必要な資格でもあることから、部の運営費補助に上乗せする形で助成しております。運転免許については、個人が取得する資格でありますので、これまで同様一部補助でお願いしたいと考えております。	A
当日	関谷下田野	消防車(タンク車)運転用免許取得費の負担	【再質問】 自治会費を圧迫しているのは、防犯灯や消防の経費。タンク車は中型免許が必要。新しく入る団員は乗れないので、新人が助手席に乗って先輩が運転。今のところ自治会が半分負担して免許を取ってもらっている。市負担をもう少し増やしてほしい。	消防自動車の免許取得の補助については、2分の1以内かつ限度額10万を補助をしています。一昨年制度が改正され、普通免許で3.5トンまでとなり、準中型免許の補助も検討しています。しかし、個人の資格という点を鑑みると、現行の補助額でご理解いただければと思います。	E

■生活環境部

1	日の出東	集団資源回収業者	当自治会も集団資源回収の登録団体となり、自治会で集めた資源等を回収してもらうべく、市指定資源回収業者に問い合わせたところ、各業者の回答が違っていた。ダンボール・紙・書籍について、1kgにつき1円と言いつける業者、1～2円という業者、価格はその時によって違うので答えられないという業者、又市内の指定業者は協定を結んでいるからどこに電話しても同じだという業者もあった。市に指定されている業者は全て那須塩原市の業者だが、他の業者を調べると(A社 本社は東京)、那須塩原市まで回収に来てダンボール等1kg4から6円と明示しているところもある。あまりにも価格が違うので、市外・県外の業者も回収業者に登録をさせるようにすべきと思う。	本事業は、「ごみの減量及び資源の有効活用を図るとともに、物を大切にすることを育てる。」ことを目的としており、営利を目的としておりません。 また、市内の登録業者で十分に処理ができることから、市外業者は登録対象としていません。	C
当日	日の出東	集団資源回収業者	【再質問】 資源ごみの回収について、少しでも高い業者に引き取ってもらいたい。市の指定業者はキロ2円、調べたところ指定業者以外では7円と言う業者もある。少しでも自治会費の収益を得たいと考えている。営利目的ではないとの回答になっているがどう考えるのか。5円で持って行ってくれるところも指定すればいいのではないかと。自治会に収益がほしい。高く引き取る業者を登録してもらえばいい。	集団資源物回収の市の考え方は、ごみを分別してごみの量を減らすことが主旨となっています。売り払いをして収入を得ることが目的ではないという意味でこの様な表現になりました。この事業をやっていただければ市から補助金も出しています。商業施設に持って行っているという自治会もありますが、その場合には市の補助金は出していません。他に単価が高いところがあるのは理解していますが、市では一定の基準を満たして登録した業者への取り扱いをお願いしており、その取扱いをしたものを補助の対象にしています。もちろん一定基準を満たして登録業者になるのであればそれは可能ですが、現在は登録されていません。	C

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
2	関谷下田野	防犯灯補助金の増額	防犯灯の設置希望は年々増加しており、設置費と電気料金の補助を受けているものの、毎年電気料金が増加の一途をたどり、自治会の会計を圧迫する要因の一つになっている。 また、本地区内には学校があるため、地区内の居住者でなく、地区外の通学者のために設置することも多く、将来学校が統廃合されると、この傾向は多くなると予想される。さらに、自治会退会者が出ても、その近くの防犯灯を撤去することはできず、加入世帯数が減少しても、自治会会計の固定費は増加する。 これらのことから、防犯灯に関する補助金を増額するか、通学路部分の防犯灯について市の負担へと移行できないか。	防犯灯の設置及び管理については、その費用の一部（設置費については概ね8割、電気料については概ね5割）を補助しているところです。補助額については随時見直しを行っており、平成30年度に設置費の補助額を増額しております。 今回頂きましたご意見は、今後の補助のあり方を検討する上での参考とさせていただきます。	E
当日	関谷下田野	防犯灯補助金の増額	【再質問】 防犯灯の経費が毎年増えて自治会の会計を圧迫するのでコミュニティの金額が減る。数年後は関谷小のところに小中学校が一緒になって多くの子どもたちが通うことになる。自分たちの生活の場ではないけれどもそこを通る子がいるとなるともっと防犯灯が必要になる。我々の生活の場なら地域負担でいいと思うが、通学路については公費負担してもらおうということにできないのか。	防犯灯設置費については約8割の2万3千円となっており、これは自治会が1灯あたり5千円負担で済むようにと平成30年度に2万円から増額したものです。電気料は1灯あたり年間1700円かかるということで2分の1の800円としているところです。その他に平成35年度までと期限は付いていますが、維持管理についての費用は市で負担。電気料以外の修繕などは全額市で修理、取り換えをすることとしています。通学路については特出しの意見もありましたが、今後の検討の参考にはさせていただきます。	E
当日	不明	予約ワゴンバス	【追加要望】以前に予約ワゴンバスの事に対して(申し上げて)バス停を増やし絵もらって助かっている。随分便利になったと思っている。接骨木線について、予約の時間が午前8時から午後6時ということで、できれば朝、急に乗りたいということもあるわけで、例えば午後8時を10時くらいまでにしてもらおうとか予約時間を延ばしてもらえないでしょうか。留守電とかでも。要望は出しておかないといずれ皆さんも歳をとる、その時に困ることになる。夜のバスが18時で終わってしまう。いつかもう少し遅い時間のバスが増えるといいと思う。	昨年の10月から予約ワゴンバスからゆーたくに変更しました。予約も2時間前までだったものを1時間前とし(新湯線は下から上がるので2時間前までとしています)、少しずつ改善は図っています。予約の時間を延ばせないか朝を早くできないかということに関しては、FAX、メールなどが利用できないか、タクシー協議会と検討して延ばせるようにしていきたいと思っています。遅い時間までの運行に関しては、来年の10月に向けて第2段階の改変に着手しているところなので、その中で検討して少しでも遅い時間に対応できるようなものを構築していきたいと思っています。	E

■生活環境部・産業観光部

1	上の原	貯水槽の整備	雪不足の為、水不足が心配される。現在は上の原と富士山の二か所に貯水槽がある。生活用水もあるが、畑も多い地区なので、農業にも水を多く使う。ぜひ貯水槽の増設(補助)をお願いしたい。 また、飲み水について、他に水源を確保できる方法はないのか伺いたい。	【産業観光部】 農業用水について、令和元年5月29日、塩原土地改良区理事長と水道組合役員と共に現場を確認しました。県に状況を説明し、対応を検討しております。 【生活環境部】 貯水槽等を利用されている地域に居住されている方々につきましては、皆さま自身による、共同での専用水道等により飲料水等を確保していただいております。	B F
---	-----	--------	--	---	-------------------

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
-----	----	----	------	-------	----

■保健福祉部

1	関谷下田野	AED設置 個所の見 直し	AEDは、市役所や学校、公民館等をはじめ、最近ではJA等の民間にも設置されはじめたが、いずれも施設の開館時間に利用が制限されており、休日や夜間は利用できない。 以前、この点について市の回答は、学校等の窓ガラスを割って利用して良いとのことだったが、施設内の設置場所も分からず、警報機もなり、また施設によっては高価なガラスを利用していることもある。ガラスを割る事自体勇気が必要で、いざという時に学校等は利用できないのが現状かと思う。 数年前の市政懇談会で、施設外にスタンドを設置し、AEDを設置する提案をしたが、その後の検討結果が伝わっていない。 施設外部への設置か、コンビニ設置の協力を研究してほしい。	救命救急の観点からはAEDの設置箇所及び設置台数が増えることは望ましいことと考えており、市でも100箇所の市有施設にAEDを配置しているところであります。 しかしながら、AEDの設置についてはあくまでも施設管理者の考えに委ねられるものと考えており、現時点ではコンビニをはじめとする民間施設への設置については考えておりません。 また、屋外への設置については、昨年度策定した「市有施設におけるAEDの設置等に関する方針」に基づき、各施設において随時(屋外も含めた)適正な配置場所を検討しているところです。 なお、他自治体の施策についても参考にしながら、引き続き研究してまいりたいと考えております。	C
---	-------	---------------------	--	--	---

■産業観光部

1	福渡	「観光」がビ ジネスにな る仕組みづ くり	市長就任の抱負において「観光」に多く言及いただいたことは、塩原地区住民として大変喜ばしいことである。「観光」は地域に人口を流入させる有効な手段であり、地域の商業や農業の活性化すなわち地域経済の活性化に大きく寄与するとともに、定住促進にもつながる(観光客の数量は、当該地域の魅力度を反映する重要な指標の一つ)と考えるものである。観光マスタープラン等を通じて、温泉地以外の黒磯・西那須野市街地の人々にも「観光」がビジネスになる仕組みを作してほしい。また温泉地区においては今後の主流になるであろう「歩いて楽しい」観光地づくりへのインフラ整備を、当該地区住民とともに早急に計画、実施をしていただきたい。	黒磯地区では、7月20日付で黒磯駅前に「まちなか交流センター(愛称:くるる)」がオープンし、来年度には駅前図書館がオープン予定です。これらの施設は地域の活性化だけでなく観光客との交流の場としての活用も見込まれています。 西那須野地区では、昨年5月に認定された「日本遺産」の構成文化財を多数有しておりますので、日本遺産と連携した観光客を増加させる仕組みづくりを構築していきたいと考えています。 温泉地区のインフラ整備につきましては、地元関係者や関係機関と協議しながら、魅力ある温泉地となるよう検討してまいります。	B
---	----	--------------------------------	--	--	---

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
当日	福渡	「観光」がビジネスになる仕組みづくり	【追加要望】観光が市にとって大切な産業になるということは市長にも認識してもらって力強い。しかし、観光産業を進めるには、昔のようにイベントをやるということではなく魅力的なまちづくりということでハード面の整備だろう。それには大きなお金がかかる。市として観光産業にお金をかけることが温泉街以外に住んでいる人達と意識の温度差があるのではないか。議会でも観光の質問はあまり多くない。観光客がくることでまちが活性化する、例えば東京は一番の観光都市であり、富岡製糸場が盛んだった頃は、あちこちに俄か喫茶店が出来た。人が歩けば人が集まれば、商業も農業も活性化する。それが「観光は温泉地のことだけ」と捉えられがち。黒磯でもSHOZOストリートは有名な観光地になっている。県外からも来ている。それを活用するような施策が市でできないか。それに関連して黒磯も西那須も我々も「多くの人たちを相手に何かビジネスができないか」を是非理解してほしい。そういった土壌がないことが、観光産業に予算を付けることの障壁になるのではないか。「くるる」にしても、西那須野駅前の整備にしても大きなお金をかけてまちの整備を行ったが、果たして効果はどうか。市の定住促進にも合致するので、行政も議会も皆さんのバックにいる市民と、観光によってまちが発展し潤うという議論をぜひやってもらいたい。要望です。	【市長】 ここ最近の全国的な土地の価格は、商業地の値段を見てもニセコとか京都とかの価格がぐんぐん上がっています。東京、愛知名古屋、福岡という大都市ではなく、なぜそのような地域が上がってるかというと、インバウンドが入ってきて物凄い勢いでホテルが建っているから。日光でさえ旧今市の人から「観光は関係ない。農業や工業の話をしてほしい」と言われます。今や観光というのはその土地の価格まで左右する大きな産業だと私は認識をしています。観光は、今までである魅力の組み合わせで、その一つがガストロノミーツーリズム、温泉を使ったリハビリです。塩原温泉病院もありますが、ヘルスツーリズムなどという言い方もします。健康増進の旅をしようという概念で、観光は観光業の方だけのものではないと思っています。農業のブランド、例えば栃木県のコシヒカリと魚沼産のコシヒカリ一俵当たりの値段が1.4倍違いますが、魚沼産のコシヒカリが1.4倍美味しいかというと、そんなわけはありません。これはブランド力の差。やはり観光地でしっかりブランド力を上げる必要があります。那須・那須塩原いいところで塩原高原野菜の美味しいところと定着すれば観光にも行ってみたいとなり、そういった意味で農業と観光は非常にリンクしていると思います。ハード面では、那須塩原駅前をしっかりと考えるべきではないかと思っています。「軽井沢をイメージして行ったらがっかりした」とよく言われ、どんなにコンテンツがしっかりしていても玄関口が寂しければお客さんはガッカリしてしまう。那須塩原駅というのは単なる東那須野の駅ではなくて、県北の玄関口であるので、ここを充実させなければ、どんなに奥に行ってもいいものがあっても帰ってしまいます。話し合いから始めていきたいと思っています。	B
2	古町3丁目	有害鳥獣対策	野生鳥獣による被害防止について引き続き対策をお願いしたい。また、今年度の政策を伺う。	巡視員による巡回や猟友会の協力による野生鳥獣の捕獲や駆除を実施しております。また、市野生鳥獣被害対策協議会を通じて、防護柵設置費用を予算の範囲内で助成しております。	F
3	上塩原	中山地区ガケ崩れ対応	中山地区にガケ崩れがひどい箇所がある。ガケ上は畑への進入路があり、進入路スレまで崩れ始まっているため、早急に対応してほしい。	今回要望の箇所は、以前より県に対し治山事業の要望を行っている箇所でありますので、引き続き、県に対し治山事業での要望を行っていきます。	D
4	上塩原	上塩原地区のシカ対策	シカの被害に悩まされている。適切な鳥獣害対策の方法を教えてください。また、補助事業の詳細を教えてください。	鳥獣による被害対策については、鳥獣を寄せ付けない集落全体での対策が重要と考えております。 対策としては、『藪や山林の草刈りを行う。』また、『野菜くずや収穫しない果実を放置しない。』などがあります。 市が行っている事業(補助)は、集落全体での学習会開催や農地を守る防除柵費用の助成などがあります。詳しくは、農林整備課までご相談ください。	F
当日	上塩原	有害鳥獣被害	【追加要望】有害鳥獣被害について、耕作放棄地で困っている。耕作放棄地に有害鳥獣が住み着いてしまっている。草刈りをやってみても自分だけの力ではどうにもならない。我々も協力するが行政も協力して鳥獣の住処を撃退しないとなかなか対策は進んでいかないと思う。畑田んぼに戻しても作付けしないとまた繰り返し。市長が言うようにブランド力、美味しい野菜や米その他いろいろある。塩原大根やかぶらは市長のおじいさんの渡辺先生が作ってくれたブランド品である。孫である市長さんが、また何か新しいブランドを作ってほしいと願う。	耕作放棄地について草刈りなどが有効だと考えます。里山管理という事業もあるので、どのような協力ができるかということはこの後相談させていただければと思います。 【市長】 従来からの対策もありますしセンサーを使って生態を調べるなども始まっており、そうした先行事例も取組めれば良いと思います。ブランドについては、特に高原野菜はブランドイメージが付きやすいと考えており、東京に行ったらかぶの話をするとか関心を持ってもらえます。全国的にヘルシーブームですし、特に天皇陛下もおおいになるこの那須の高原野菜はいいものとして、那須塩原のブランド野菜の一つとしても考えていきたいと思っています。	E

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
■建設部					
1	塩の湯	都市計画	県道56号線(塩原矢板線道路の塩の湯からハンターマウンテン塩原矢板取り付け道路までの区間)の整備をお願いしたい。特に、側溝の取り付けをお願いしたい。 台風の大雨時、道路が川になってしまい、その濁流により一気に川の増水、杉の木の流出、土砂崩れ、河川に氾濫を招き、強いては下流域に損害を与えかねない。併せて、道路沿いの山林の管理もお願いしたい。	県に確認したところ「県道塩原矢板線の道路排水については、路肩にL型側溝及びアスカーブを設置しているところではありますが、一部未設置区間や破損している区間があるため、今後実施する道路防災工事と併せて設置や補修を検討します。また、山林の管理については、民有林は所有者、国有林は林野庁の所管となりますが、道路防災上危険と判断される場所においては、今後、伐採や法枠工等の工事を予定しております。」との回答を得ておりますので、御理解、御協力のほどよろしくお願い致します。	E
2	古町3丁目	塩原地区内の空き家対策	「那須塩原市空き家対策計画」に基づく、塩原地区内における具体的な空き家対策の進捗状況をお聞かせ願いたい。特に温泉街中心部に位置する塩原温泉JRバスターミナル前にある2軒の空き家については、倒壊の危険性や景観整備の観点から早急な整理を希望する地域住民の声が非常に多いため、一刻も早く善処を願いたい。	「空き家等対策計画」に基づく、塩原地区内における具体的な空き家対策の進捗状況ですが、平成28年度に実施した「空き家等実態調査」の結果、619件の空き家等が存在することが判明しました。 また、令和元年5月末現在で18件の空き家に対する相談があり、そのうち9件が解決しております。 なお、温泉街中心部に位置する塩原温泉JRバスターミナル前にある空き家のうち1件は、現在、自主的な解体に向けて交渉中でございます。 もう1件につきましては、状況を確認のうえ「特定空き家等」に該当する場合には、空き家等対策計画に基づき、適切に対応して参ります。	A
3	古町3丁目	国道400号下塩原バイパス3期工事	休止が決定された国道400号下塩原バイパス3期工事について、塩原地区自治会長会としては工事再開を望んでいる。第2トンネルが開通してもなお予想される交通渋滞の解消と、これからの観光地のあり方として望まれる「歩ける観光地」づくり(旧視力センター跡地利用計画とも深い関連性あり)のためである。工事は県の所管であると十分承知しているが、市の強力なバックアップを望む。	大田原土木事務所開催の「国道400号下塩原バイパス3期工区休止に係る説明会」の際、国道400号下塩原バイパスについては、2期工区の完成により、国道400号の当該区間における土砂災害へ対応が図られ、また、連続雨量200mm超過による通行止め規制を行わなくて済むようになるとの説明がありました。また、3期工区の休止について、説明会の質疑応答で2期工区供用開始後、状況をみて事業開始の判断をしたいとの説明がありました。 市においても、まずは県へ現在実施中の2期工区の完了を要望していき、3期工区については、供用開始後の交通状況等を見極めながら、対応していきたいと考えております。	E
4	関谷京町	国道400号線の補修	国道400号線に穴が開いているところやひび割れがあるので補修してほしい	県に確認したところ「関谷地内の国道400号はカーブが連続しており、車両の輪荷重により舗装の穴やひび割れが点在しております。穴については、定期パトロールにより箇所を確認し、穴埋め作業を実施しました。また、ひび割れにより舗装の損傷が部分的に著しい箇所については、維持管理業務において部分的な補修工事を行う予定です。」との回答を得ておりますので、御理解、御協力のほどよろしくお願い致します。	B
5	高阿津	道路の整備	金沢高阿津橋から先の延長を昨年に続きお願いしたい	昨年度も同様の回答をさせていただいたところですが、ご要望の路線は新市建設計画の主要道路網整備事業として計画されている「市道洞島青木線、市道金沢中横林線」の金沢側の区間となります。 現在、市の道路整備については、「第2次那須塩原市道路整備基本計画」に基づき事業を進めており、第2次計画後期には「(仮称)市道洞島横林線」として洞島から横林間の整備が予定されています。具体的な整備時期は、現段階では提示できませんが、横林から金沢間の整備は、それ以降の事業区間と考えております。	C

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
6	宇都野根古屋	道路側側溝・蓋の設置	根古屋地区の県道30号線の道路側側溝と蓋の設置をお願いしたい。近年、乗用車及び大型トラックの通行量が増えている。側溝が土溝のため、道路側の法面の崩れ等がみられる。また、徒歩やサイクリングなどの際、大型トラックの増加や走行車が多く危険である。	県に確認したところ「要望の(主)矢板那須線 宇都野橋そばの側溝未整備区間につきましては、歩道整備を含め検討を行ってまいります。相ノ沢地区の側溝蓋設置の要望につきましては、昨年に引き続き危険箇所の側溝蓋の設置・補修及び堆積土砂の撤去等の対応を検討したいと考えております。」との回答を得ておりますので御理解、御協力のほどよろしくお願いします。	B
7	上塩原	上塩原緑地公園内トイレ設置	公園には、社会科見学などで子どもたちも多く訪れている。現在は仮設トイレが設置されているが、利用者も多いことから常設のトイレ設置を要望する。	昨年も同様の要望をいただいており、改めて公園所有者であります県に確認したところ、公園の規模や利用頻度、トイレの設置費用から判断し、県が常設トイレを設置するのは困難ですとの回答を得ておりますことから、今後とも市で設置しております仮設トイレの維持管理に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。	D

■建設部・上下水道部

1	塩の湯	塩の湯地区の下水道の敷設と電線の地中化	上水道の敷設の半ばだが、下水道の敷設及び電線の地中化等の計画をしようか。	【建設部】 電線の地中化について、現在のところ市で計画する予定はございません。 【上下水道部】 下水道の全体計画の見直しにより下水道の整備区域は縮小させて、合併処理浄化槽での整備区域を拡大しているため、当地区への公共下水道としての整備計画はありません。	D E
---	-----	---------------------	--------------------------------------	--	------------

■選挙管理委員会

1	上大貫上	上大貫集落センターへの投票所の変更	高阿津・上大貫・下大貫地区の投票所が大貫小学校となっているが、自治会総会にて高齢者が履物を替えて、長い廊下を歩くことが苦痛のため投票を懸念する意見がありました。以前の上大貫集落センターなら、履き替えがなく、スムーズに投票できるため、投票所を上大貫集落センターに変更できないか。小さなことではあるが、近年の投票率低下につながっているのではと要望があり、検討をお願いしたい。	上大貫集落センターは昭和47年(昭和56年の耐震基準改正以前)に建築された建物であり、安全性の面から、平成24年度の投票所見直しの際、投票所が大貫小学校に変更となった経緯があります。投票所については安全性の確保が必要であり、上大貫集落センターを投票所とすることは現時点では難しいと考えております。	C
---	------	-------------------	---	--	---

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
-----	----	----	------	-------	----

■選挙管理委員会・教育部

1	上大貫中	上大貫集落センターの耐震強化と投票所の変更 当地区の選挙の投票率が低いのは投票所が大貫小学校になってからであり、投票所変更の理由は上大貫集落センターの耐震強度が問題で、万一災害が発生したら被害が生じる恐れがあるためと聞いている。自治会として、センターの耐震強度の強化と、従前通り上大貫集落センターで投票ができる環境にして欲しい。	【選挙管理委員会】 上大貫集落センターは昭和47年(昭和56年の耐震基準改正以前)に建築された建物であり、安全性の面から、平成24年度の投票所見直しの際、投票所が大貫小学校に変更となった経緯があります。 投票所については安全性の確保が必要であり、上大貫集落センターを投票所とすることは現時点では難しいと考えております。 【教育部】 ご要望の耐震診断・改修については、自治公民館の施設整備(新築、増改築、修繕、バリアフリー化、屋外運動施設整備及び耐震診断・改修)に対する補助金の対象となります。なお、各自治公民館に対する次年度の補助金交付のための要望調査については、例年9～10月に実施しております。	C F
---	------	--	--	-------------------

■上下水道部

1	塩の湯	寒冷地対策(水道料金)	極寒期にはマイナス15度を記録することがある。水道管凍結防止のための水道出し放し分の軽減策をお願いしたい。	水道使用者間の負担の公平性の観点から、改めて軽減等を設ける考えはありません。	D
2	日の出東	市水排水管の敷設	現在、地区の小規模水道で「水」を賄っており、ようやく市水道の「給水地区」に指定され、やっと安全安心な水道水が供給されると喜んでいたが、現在ある市水配水管からの分水工事については、各個人が工事費を負担せよとのことである。配水管から各戸まであまりに距離が長く、水道を引くにも数百万円の金額がかかる世帯が多く、市水道を引くことをあきらめる他ない状況である。せめて、各戸に接する公道部分には、市において市水配水管の敷設をお願いしたい。	当該地区周辺は配水池との位置関係により、適正水圧の確保に懸念がある箇所があります。今年度においては、その問題を解決するための検討業務を実施することとなっております。	B

■教育部

1	上大貫中	上大貫集落センターの改修	1.上大貫集落センターの台所のガス台を交換して欲しい 2.上大貫集落センターのトイレを和式から洋式にして欲しい	ご要望のトイレ改修については、自治公民館の施設整備(新築、増改築、修繕、バリアフリー化、屋外運動施設整備及び耐震診断・改修)に対する補助金の対象となります。なお、各自治公民館に対する次年度の補助金交付のための要望調査については、例年9～10月に実施しております。 また、ガス台等備品の更新等は補助対象外となりますので、自治公民館の予算での対応をお願いします。	F
---	------	--------------	---	---	---

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
当日	関谷上町	小学校運動会における市の予算	【追加質問】小学校の運動会の会議があった。予算書が協力金のみで市からのお金がかかっていなかった。運動会の費用は出していないのか。予算書が協力金のみなのはどうかと思った。金額はいくら出しているのか。	以前は補助金という形で出していましたが、現在は学校の全体運営の予算中に入っているものです。使い方はそれぞれの学校で工夫しています。 金額は学校の規模によって出しています。	F

■塩原支所

1	中塩原	塩原支所の車の出入口	塩原支所の上側と下側の入り口がとても狭くて、車の出入りがしづらいと地元の人からよく言われる。時には車が縁石に乗り上げることもある。支所の入口は、他の地区の人もしづらいとよく聞いているので、早く直して欲しい。	開所当時の道路管理者である大田原土木事務所との取付協議の中で、転回のためのバス出入りもあることから、2か所とも通常の許可よりも広く間口を取ることで許可されたという経緯があります。 よって狭いという認識はありませんが、誤進入防止の対策として、ポール設置等を検討します。 ※ 間口が広いと、歩行者の安全性が損なわれる反面があります。	A
当日	中塩原	塩原支所の車の出入口	【再質問】塩原支所の上側の入り口が狭いことについて。中塩原では高齢者が多いので内回りをしてしまう。両脇にあるブロックを1m位バックすれば入りやすいと思うがどうか。入る時に狭く感じる。だから内回りする。あと少し広げてもらおうと素直に曲がれる。実際に見てもらおうとポールが曲がっている。うちの地区の人が何回も引っかけていると聞いている。	塩原支所建設の際に既定の範囲内で設置しています。道路反対側に渡す水の通路が少し飛び出ている間にポールが立っているために少し見づらいということもあって入りにくいと感じるのかなと思います。表示をわかりやすくしていくなど、再度検討します。	A
2	塩の湯	遊歩道の整備	昨今、「おしらじの滝」に向かう行楽客が顕著である。塩の湯から八方ヶ原までの山岳歩道は、かつて低山ハイクの好適地であり、八方ヶ原のつつじが満開のときは、多くの人々がこの古道を歩いた。「おしらじの滝」ブームに鑑み、通行禁止になっている古道の再開をお願いしたい。	歩道管理者である県としては、落石や崩壊箇所があるため歩行者の安全が確保できないことから、引き続き通行止めとする考えとのことです。 引き続き、県に修繕の要望をしてまいります。	C
3	畑下	公衆トイレの設置	畑下地区はまちめぐりのコースにもなっているが公衆トイレが1カ所もない。観光客および地域住民の利便性を考慮し、ぜひ公衆トイレの設置をお願いしたい。設置場所としては、市道沿いに市の空き地がある(亀谷本舗さん前)ので、畑下バス停にも近く最適な場所だと思う。	公衆トイレに関しては、既存施設の利用状況を勘案したうえで、今後、公衆トイレを設置することが適切であるか各種団体等と協議をしていきたいと考えております。	C
4	畑下	畑下～小太郎ヶ淵遊歩道修繕整備	昔から畑下から小太郎ヶ淵の山道があり、小太郎ヶ淵という知名度も高く、山道のロケーションも素晴らしいため、大変人気のハイキングコースでした。しかし、東日本大震災の影響により山道が崩れて跡形もない状態となり、現在に至るまで手付かずの状態である。また、近年の記録的な大雨等(自然災害)により山の斜面も年々崩れているように見える。山頂には川崎大師厄除不動尊もある。山道の途中には民家が1軒あり、一部私道となっているが、今は居住者がいない。昔からの山道とはいえ、一部私道が含まれ難題も多いと思うが、観光誘客対策のひとつとして、畑下から小太郎ヶ淵遊歩道修繕整備をお願いしたい。	当該遊歩道において、数カ所崩落が確認されており、管理をしている県が、通行止めの措置を取っています。 県に確認したところ、平成25年度に対応策として、う回路の設置を検討したが用地の確保ができず、遊歩道については廃道の方向で検討中とのことです。市としては、再度う回路の検討を要請していきたいと考えております。	C

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
5	高阿津	防火水槽の設置	防火水槽の設置を昨年に続きお願いしたい	昨年もお答えしましたが、防火水槽設置は支所毎に年1か所の計画で進めておりますので、関係機関とその必要性について十分に協議を行い、優先順位によって今後も計画的に整備を行っていきます。 塩原支所管内では現在4か所の設置要望がありますので、高阿津の防火水槽は、順調に行けば4年後(令和5年度)の設置になります。	B
6	古町4丁目	防火用水の蓋の修繕	追沢橋付近の防火用水の蓋が損傷しており、観光客がつまずいて転倒してしまったので、修繕をお願いしたい	市及び消防本部では、この用水を防火用水と認定していないので、地元管理のものであると認識していますが、歩行者の危険性の除去ということで、早急に安全対策を講じたいと思います。	A
7	古町4丁目	防火用水の水漏れ	追沢橋に付属している管から水漏れしているので、修繕して欲しい。	市及び消防本部では、この用水を防火用水と認定していないので、地元管理のものと認識しております。よって修繕はいたしません。	D
8	上塩原	畑向地区ガードレール設置・道路補修	工事のために大型トラックの交通量が多く、道路がひどく荒れているので、現地確認の上、補修してほしい。併せて、一部の箇所にはガードレールがなく危険であるため、ガードレールの設置もしてほしい。	畑向1号線・2号線につきましては、県による崩落箇所整備も完了しましたので現地確認の上道路補修に着手したいと思います。またガードレールにつきましては、地元と危険箇所を確認した上設置を検討したいと考えております。	A
当日	新湯	野立岩について	【追加要望】野立岩がボルダリングのメッカになっている。世界的に有名な選手や日本代表の選手なども来ている。業界的に盛り上がっている。来年オリンピックでスポーツクライミングが正式種目となる。その中に栃木県出身の長崎選手という方が代表候補となっていてメダルに近いと言われている。メダルを取った暁にはスポーツ人口が莫大に増える。今でも駐車場がいっぱいで順番待ちになっている。今後、底辺が増えて初心者が参加することになるとケガやマナー違反などの問題が起きてくる。今、我々が関知しない状況でそうなった時に使用禁止や立ち入り禁止などになるとせっかくの塩原の財産が無くなってしまう。やっている方の声を聞くと河原に下りられる階段の設置をしてほしい。少し離れてもいいので駐車場を確保してほしい。飲食店を紹介してほしいなどと聞いている。今後、利用者・観光業者・地元・行政などが連絡協議会などを設置してルール作りなどをする必要があるのでないか。	先日座談会があつて、みなさんボルダリングに対して好意的な印象を持っていただいていたという情報を得ているところです。今はロープで降りているが、土木事務所とは階段の設置などについて協議をしているところです。連絡協議会については、地元優先で市も協力するという形で協議を進めていきたいと思います。	B